

「見えないもの」を視る

「ジェンダー研究2.0」を見据え、新たな視点で挑む

宮廷女性の比較史、刊行!

王室・後宮・奥・ハレム

歴史学のなかのジェンダーを考える

神田裕理 編

四六判 予 288 頁 ISBN:978-4-634-59158-5 C0022 定価 2,200 円(本体 2,000 円 + 税 10%)

日本、東アジア、西洋、イスラム——

王を支えた女性たちはどのように生き、どのような役割を果たしたのか?

社会構造における共通性、独自性はなにか?

宮廷女性をキーワードに時代や地域を横断し、政治に参加した女性の姿を浮かび上がらせる。

後宮・奥・ハレムと呼ばれる日本・アジアのみならずヨーロッパ諸国の「奥向き」について、組織面・制度面、そこに属する人々(后・妃嬪。女官・男官)に加え、彼女たちが携わった儀礼・文化にも目配りしながら検討を行った。地域・時代を越えた比較検討を行うことで、多様性を見いだすことが可能となり、多彩な「宮廷女性」像・「奥向き」像を提示することができたと自負している。(「はじめに」より)

目次

はじめに——ジェンダーの視点から宮廷女性を解明する 神田裕理

座談会 宮廷女性研究の現在と未来

第1部 宮廷内で働く女官・女房たちの仕事から考える

「采女」と「貢女」——日本古代国家の人材登用と男女の出仕 伊集院葉子

中世日本の「後宮」——後継者の「生産」に果たした役割 松蘭 斉

女房としての紫式部 倉本一宏

後宮女房の生涯と人事——中世～近世移行期日本の女房職の相伝性 神田裕理

明代の女官について——後宮の管理と後宮儀礼の実態 前田尚美

第2部 性差から宮廷内の役割を考える

中世日本の日記における女性のよばれ方 村井章介

オスマン帝国ハレムのジェンダー秩序 小笠原弘幸

モンゴル帝国の宮廷の女性が果たした政治的役割 宇野伸浩

レディース・イン・ウエイティングの役割とその影響 山木聖史

第3部 出自・身分・宗教による所属集団から考える

尼となる后妃たち——南北朝～隋唐時代の後宮 松下憲一

足利将軍家の「妻(室)」と「母」——その呼称をめぐって 木下昌規

室町・戦国期の尼寺と尼僧——南御所・入江殿を中心に 高島 廉

幕末維新期の公家女性と奥——菊亭美子の妻・未亡人・母として担った役割 田中暁龍

女子修道院の歴史とその文化活動をめぐる考察 滝澤修身



王室・後宮・奥・ハレム
歴史学のなかのジェンダーを考える
神田裕理 編

「見えないもの」を視る

日本、東アジア、西洋、イスラム——
王を支えた女性たちはどのように生き、
どのような役割を果たしたのか?
社会構造における共通性、独自性はなにか?

「ジェンダー研究2.0」を見据え、
新たな視点で挑む
宮廷女性の比較史、刊行!

山川出版社

※書影はイメージです

宮廷女性の戦国史

神田裕理 著



ご注文冊数

ご注文冊数

冊

※新刊配本に間に合いますよう、お早めのご注文をお願いいたします。

関連既刊(注文扱い)

ISBN978-4-634-15205-2

既刊 2022 年 4 月 21 日刊行

四六判・296 頁

定価 1,980 円(本体 1,800 円)



9784634152052

冊

はじめての西洋ジェンダー史

弓削尚子 著



冊

ISBN978-4-634-64095-5

既刊 2021 年 11 月 30 日刊行

四六判・304 頁

定価 2,530 円(本体 2,300 円)



9784634640955



山川出版社

TEL : 03-3293-8131

※ご注文は、下記まで FAX をお願い致します

FAX : 03-3292-6469

(ご担当名:)

貴店番線印